

平成27年度 家庭養護促進協会 事業報告

— 大阪事務所 —

I. 里親及び申込者のための研修と里親子のための親睦活動

【養子を育てたい夫婦のための連続講座】

申込者の高齢化が進み、初回来所から委託までの期間が短くならざるを得ないので、委託前にはできるだけ講座を受講するよう勧めている。大阪府下、近畿圏、協会経由で委託をおこなった近畿圏外の児童相談所にも案内を送付しており、児童福祉司や里親支援専門相談員など、オブザーバー参加が非常に多かった。

講座は、連続3回で土曜日13時30分から17時（最終回は17時30分）。のべ73組の受講者のうち、養親候補者として推薦したのは12組、調査検討中7組である。児童相談所から勧められて講座を受講し、その後に地元児相や民間団体からの紹介で子どもを受託している夫婦も増えている。

		第78回	第79回	第80回
日時		6/6, 13, 20	10/3, 10, 17	2/6, 13, 20
場所		大阪市立社会福祉センター会議室		
内容	1 グループセッション	参加者と職員とのワーク		
	2 「養子里親の体験談」から	Y夫妻	Y夫妻	N夫妻
	3 「養子を育てること」とは・・・	岩崎 美枝子		
	参加者	23組	24組	26組
	オブザーバー参加者	9名	4名	5名

【成長した子どもからのメッセージ】

3歳7ヵ月で長野県の養親宅に引き取られたK君（19歳・男性）を話者として迎えた。昨年、大阪にある調理師専門学校へ進学し、この春からホテルで働くこととなったK君に、養子として育ててきた思いを率直に語ってもらった。

日時 3月19日（土） 13:30～16:00
 場所 大阪市立社会福祉センター
 参加者 28名（保育7名）

【里親子の親睦を深めるための活動】

(1) ふれあいキャンプ 8月17～19日（於：紀泉わいわい村（大阪府泉南市））

はじめて利用する施設であった。囲炉裏やかまど、五右衛門風呂のあるかやぶき屋根の宿舎で、3食自炊だったが、子どもたちは協力しあい、がんばっていた。特に「プログラム」が用意されている施設ではないが、退屈することはなく、川遊びやクラフト、ピザづくりなど、楽しんで過ごすことができた。例年に比べ、移動の時間が大幅に短縮できたので、現地でゆったりと過ごすことができた。成長した養子たちが、サブリーダーとして、たくさん参加してくれた。

参加者：子ども19名、大阪南YMCAスタッフ6名、サブリーダー5名、協会職員5名、オブザーバー1名

(2) 第17回 おやこDEうんどう会（於：大阪市立長居小学校）

11月3日（祝）今年度から第一工芸株式会社の有志の会が協力してくださり、競技も2種目、企画、準備、当日の進行を担当、また、参加者への景品も提供いただいた。当日の運営ボランティアとしても8名の社員さんの参加があった。成長した養子、これから養子を迎えようと考えている夫婦などを含む17名のボランティアさんにもご協力いただいた。

参加者：43家庭（126名）、2施設（5名）、ボランティア25名、来賓3名

(3) JBクラブ

養（里）子を養育中の母親（父親）が、子ども連れて集える「ひろば」の開催を平成18年度より継続。月に1回（10:30～15:00）、主に就園前の幼児を養育中の養（里）親家庭が参加してくれているが、夏休みやクリスマス会は就園児の参加も多い。養母同士のつながりも密になっており、親しく会

話を交わす様子がみられる。公益財団法人大阪コミュニティ財団ふれあい基金のご支援を受けておこなっている。毎月1回、計12回開催し、参加者はのべ104家庭。

(4) JBのOB会

平成23年度より夏休みに小学生以上の養(里)子と保護者を対象に企画。7月29日に実施し、2家庭参加。

(5) エリカの会

小学校入学前や既に小学生になった高年齢の子どもを受託した養親を対象に企画。今年度は実施していない。

【児童相談所里親担当者会議の開催】

大阪府・市の子どもを委託したことのある全国の児童相談所によびかけての里親担当者会議は、今年で27回目となった。例年通り2日間の日程を組み、1日目を研修会、2日目を学習会とした。また、1日目の夜には交流会をおこなった。

日時	2月4日(木)	研修会	13時30分～17時30分
		交流会	18時～21時
	2月5日(金)	学習会	9時30分～12時
場所	大阪市立社会福祉センター		
内容	1日目	1. 「里親支援機関、里親支援専門相談員と児童相談所の連携について」 講師 長田 淳子氏(二葉乳児院(東京都)里親委託推進員) 2. 各所報告「里親支援機関や施設配属の里親支援専門相談員の現状、児童相談所との連携の状況や課題について」	
	2日目	「里親委託児童へのライフストーリーワーク」 講師: 才村 眞理氏(帝塚山学院大学非常勤講師) 事例提供: 新飯田 友弥子氏(大阪府岸和田子ども家庭センター)	
参加児相	青森県中央、福島県浜、埼玉県南、埼玉県川越、さいたま市、東京都児童相談、横浜市中央、横浜市南部、浜松市、愛知県西三河、愛知県豊田加茂、三重県児童相談、三重県中勢、滋賀県中央、京都府家庭支援総合、京都府宇治(京田辺支所)、奈良県中央、奈良県高田、兵庫県中央、兵庫県豊岡、神戸市、岡山県中央、岡山市、広島県西部、広島県北部、徳島県中央、香川県、高知県中央、長崎県、大阪府中央、池田、吹田、東大阪、富田林、岸和田、堺市、大阪市		
	1日目	34児相(39名)	2日目 36児相(38名)

II. 里親制度に関する広報活動

【機関紙・誌の発行】

(1) 月刊紙「あたらしいふれあい」の発行

毎月3,500部を印刷し、約3,000部発送。表紙のカット、発送作業のすべてにボランティアの協力を得て、毎月の発行を継続している。

(2) 年刊誌「育てる」の発行

No. 52を大阪・神戸事務所あわせて3,550部発行。大阪事務所では、会員、関係機関等に1,850部送付している。

【一般向けチラシ・冊子等の作成】

(1) 協会リーフレット(増刷): 3,000部

(2) 週末里親広報用チラシ(増刷): 10,000部

(3) 週末里親Q&A(改訂): 200部

【愛の手街頭キャンペーン】

里親制度や協会活動のための街頭キャンペーンには、平成6年度から大阪曾根崎ライオンズクラブのご支援を得ている。この活動はクラブの奉仕活動として位置づけ、取り組んでいただいている。

5月14日、10月1日にHEP FIVE前で実施。協会活動の趣意書をつけた玩具(5月は1,500個、10月は1,000個)を大阪曾根崎ライオンズクラブのメンバーとともに通行人に配布し、里親制度及び協会活動の広報をおこなった。玩具の購入(80,533円)および、チラシ付けも大阪曾根崎ライオンズクラブのメンバーがおこなってくださった。5月はHEP FIVEの休館日と重なってしまい、人通りが少なく苦戦したが、10月は晴天の下、時間内にすべて配布することができた。

また、今年度は、大阪府宅地建物取引業協会青鳩会のメンバーのご協力を得て、10月19日に南海なんば駅周辺(高島屋前)で初めての街頭キャンペーンをおこなった。協会活動の趣意書をつけた玩具3000個(85,773円)を配布。夕刻(16:00～18:00)におこなったので、会社帰りのサラリーマン等も多く、大阪駅前でのキャンペーンとは違う層にも配布できた。

【里親いろいろ応援団】

大阪市里親施策推進プロジェクト会議の活動の一環で、平成21年度より市民ボランティア「里親いろいろ応援団」として活動、協会が事務局となって活動をおこなっている。毎月定例会を開催しているが、平成24年度より大阪市管の施設の里親支援専門相談員も定例会に参加している。

毎月11日 イオン鶴見緑地店にてイエローレシートキャンペーンに参加。買い物客がレジ精算時に受け取った黄色いレシートを応援したい団体の投函BOXへ入れると、購入金額合計の1%が希望する品物で寄贈されるしくみ。毎回、応援団員が里親制度に関するチラシや風船をセットにしたもの100部あまりを配布している。27年度は44,000円分の寄贈があり、イベント時に作成するキルト用の布やペン、広報に活用するパウチフィルムなどを購入した。

8月10日(月) あべのハルカス近鉄本店「あべの・こども博覧会」
夏休みの集客イベントとして企画され、子ども向け体験・工作イベント等がたくさん用意されていた。団員が所属する「さをり織り」グループとコラボし、里親制度の広報をおこなった。

12月13日(日) あべのハルカス近鉄本店にて縁活プログラム「さとおやっとなあに？」
3年目を迎えたイベントである。新しく入った応援団員の紹介で石多英男氏とつながり、読み聞かせや手遊び、マジックや人形劇をしてもらった。その他、リコーダー演奏、ゴスペルグループによるミニコンサートをおこない、集まってくれた聴衆に対して、里親制度の広報活動を実施。里親子、養親子向けのメッセージを集めたパッチワークキルトの作製にも協力していただいた。

1月30日(日) 大阪市立生野区民センターにて「里親応援フェスタ ～歌とお芝居とおしゃべりで知る里親制度～」

第1部は地元の「アジアハウス子ども劇団」の子どもたちに協力いただき、子どもたちの合唱、里親いろいろ応援団コーラス部による合唱で始まり、第2部では「子どもは宝物～どこの子ども、誰の子ども」と題して金香百合さんにお話いただいた。第3部は関西芸術座によるお芝居「おかえり」。メッセージキルトの展示をや、喫茶コーナーや相談コーナーももうけた。

その他、大阪市里親施策推進プロジェクト会議にもオブザーバー参加している。

【一般向けの広報】

日本財団から、助成金をいただき、一般市民向けの広報活動をおこなうことができた。

(1)スルッとKANSAIおでかけ情報誌『Asobon! (アソボン)』への広告掲載

私鉄、バスなど、スルッとKANSAIエリアの約800駅に置かれており、45万部の発行部数である情報誌の3・4月号(3月1日発行)に、『ぼくにもほしいパパとママ あなたのぬくもりを必要とする子どもがいます』と呼びかける、1ページの全面広告を掲載した。

(2)バスへの広告掲載

京阪バス(枚方営業所25台)の車内戸袋に、協会のリーフレット「ぼくにもほしいパパとママ」をもとにデザインした広告を掲載。(掲載期間は平成28年1月～平成29年1月)。

(3)情報誌等への広告掲載

新聞折り込みタウン誌「ウーマンライフ」の5地域(大阪ウメキタ、大阪帝塚山、八尾、中南和、京都北)計91万4900部に広告を掲載した。

天王寺動物園情報誌「Together」(10万部発行)に広告を掲載した。

【毎日新聞その他による報道記事】

- H27. 5. 17 「里親制度 広く知って 大阪・北区街頭キャンペーン」(毎日)
- 10. 20 「家庭愛 一人でも多くに」(毎日)
- 12. 1 「こころ結んで上 産んでないけど『うちの子』」(毎日)
- 12. 2 「こころ結んで中 家族のぬくもり心に育って」(毎日)
- 12. 3 「こころ結んで下 ママにしてくれて感謝」(毎日)
- 12. 3 「愛の手チャリティー 紙上オークション」(毎日)
- 12. 29 「チャリティーオークション 今年も多くの温かい心 収益194万円を寄託」(毎日)
- H28. 1. 8 「今宵戎で愛の手 福あめなど販売」(毎日)
- 1. 14 「インタビュー 親子になる」(朝日)

【各地・各団体での講演会等で講師として活動の紹介等をした】

- H27. 4. 5 日本財団主催「特別養子縁組へのはじめての一步」(山上)
- 4. 8 大阪市児童福祉施設連盟里親支援委員会(山上)
- 4. 25 A I Dを考えるシンポジウム(岩崎)
- 5. 10 愛知県「こっこの会」研修会(岩崎)
- 5. 16 奈良県里親会総会里親研修会(岩崎)
- 5. 24 長野県中央児童相談所里親研修会(岩崎)
- 7. 8 大阪市淀川区LGBTの情報交換会(山上・和田)
- 7. 18 浜松市養育里親更新研修・里親研修会(岩崎)
- 10. 17 『平成27年度ネットワーク型市民セミナーとおやっとなあに?』「週末里親について知ろう～週末里親体験談～」(山上)
- 10. 24-25 第60回全国里親大会鹿児島大会分科会(岩崎)
- 11. 2 国士舘大学法学部1年生の特別講義(岩崎)。
- 11. 4 新潟県立大学人間生活学部子ども学科(於:市立社会福祉センター)(中島)
- 11. 8 不妊カウンセラー研修(岩崎)
- 11. 21 山口県里親講演会(岩崎)
- 11. 23 さめじまボランティアクリニック幹旋親の会(岩崎)
- 11. 24 埼玉県児童福祉研究会の里親支援専門相談員研修(岩崎)
- 11. 29 gid.jpフォーラム39th2015in関西(於:市立淀川区民センター)(和田)
- 12. 4 養子と里親を考える会主催里親支援専門相談員対象研修(於:東京)(岩崎)
- H28. 1. 22 厚生労働科学研究の研究結果報告会(於:東京)(岩崎)
- 2. 9 平成27年度沖縄県養育里親更新研修会(岩崎)
- 2. 15 十文字学園女子大学人間生活学部人間福祉学科(於:市立社会福祉センター)(山上)

Ⅲ. 広報と活動資金獲得のための活動

【えべっさん飴売り】

例年通り、下記のようにおこなった。飴の種類や仕入れ数を増やすため、仕入れ先の開拓については模索中である。新たな取り組みとしては、「えべっさん」のイラストと、「福」の字をデザインしたオリジナル飴を作製し、限定700袋を完売した。七福神キャンディとチョコボールは売れ残ってしまったが、「残り福セール」をおこない、機関紙で協力の依頼をしたところ、多数の読者から連絡をいただき、完売することができた。今年も3日間でのべ75名のボランティアさんにご協力いただいた。飴の袋の中に、愛の手運動の説明を書いたチラシを同封することで、広報活動もおこなっている。

日 時 1月9日(土)～11日(祝)
 場 所 今宮えびす神社
 収 益 773,568円
 チャリティーボックスへの寄付 159,021円

Ⅳ. 研修活動

【職員のための研修】

- H27. 4. 4 日本財団主催4月4日『養子の日』キャンペーン大人たちから子どもたちへ『家庭』という贈りもの(岩崎・山上・和田)
- 4. 16 講演「子ども達ひとりひとりを大切に育てる子育てを学ぶ」(岩崎)
- 4. 27 大人の学習会「大人は子ども達にどう関わるべきか!?(岩崎)
- 5. 22 ISSJ主催「ルーツ探し勉強会」(於:東京)(岩崎)
- 6. 27 養子と里親を考える会第122回研究会(田邊)
- 7. 9 1993年ハーグ条約に関する研究会に出席(岩崎)
- 7. 10 ISSJ主催シンポジウム『家庭養護の推進に向けて～1993年ハーグ条約から要保護児童の保護を保障を考える～』出席(岩崎・和田)
- 7. 11 近畿地区里親研修会(堺市)に出席(山上・和田)
- 8. 31 大阪府里親施策推進プロジェクト・天理教大阪教区福祉部共催里親委託推進シンポジウム(中島)
- 10. 24 子ども虐待防止シンポジウム「新たな支援の創造～大阪の20年これからの20年～」(田邊)
- 10. 24-25 第60回全国里親大会鹿児島大会(中島)
- H28. 2. 7 大阪府・大阪市・堺市里親会春季研修会に参加(和田)
- 2. 28 養子と里親を考える会第124回定例研究会に出席(山上)

Ⅴ. ホームページ関連

平成11年3月にホームページを開設、平成22年度より新たに作り替え始めていたページを更新し、新ページへと移行が済んだ。開設以来のアクセス数の合計は52万件をこえている。平成24年10月より、大阪事務所のFacebookページを開設し、毎日新聞社ホームページの「愛の手」記事欄へリンクを貼ったり、里親制度に関するイベントの広報、日常の協会活動などについて定期的な発信を続けている。ホームページを通じての今年度の書籍購入は61件82冊。会員入会は1件であった。メール相談については、以下のとおり。開設からの累積受付件数は1,374件となった。メール相談を通じて来所につながった養子縁組希望者が4件、週末里親希望者が3件あった。

【地域別】

大阪府下	11
近畿圏内(大阪府を除く)	5
近畿圏外	9
海外	3
不明	17
合計	45

海外:アメリカ2件、ブラジル

【相談者の年齢】

10代	0
20代	1
30代	12
40代以上	29
不明	42
合計	84

【相談内容】

養子を育てたい	
里親一般について知りたい	27
縁組・入籍等の手続きが知りたい	2
週末里親について知りたい、やりたい	0
国際養子について知りたい	9
養子になりたい、里親を探してほしい	3
養育相談	0
その他	0
合計	4
	45

*メール相談を通じて来所
 養子縁組希望 4件
 週末里親希望 3件
 その他 0件

VI. 相談事業

【愛の手相談室】

平成11年度から、全国里親会より「里親養育電話相談事業」として「血のつながらない親と子のためのホットライン」を3年間のモデル事業としてスタートしたが、その委託期間が終了してからも、協会の事業としてホットラインを継続している。(相談電話専用番号：06-4304-1085 月～金 11:00～17:00)

これまでホットラインとしての相談件数を別に挙げてきたが、平成25年度より統計上はこれまでの愛の手相談室に組み入れている。本年度の相談の現状については以下のとおり。
 「縁組後のアフターケア」は、思春期の子どもを持つ養親からの相談、養子自身からのルーツ探しなどの相談が見られる。

相談内容	総数	電話	来所・訪問	備考
養護相談	9	8	1	
養育相談	18	16	2	
縁組後のアフターケア	30	14	16	思春期、非行、ルーツ探し等
継続相談	2	0	2	
その他	9	9	0	
合計	68	47	21	

【APCC (思春期妊娠危機センター)】

相談件数はかなり減少傾向にある。(相談電話専用番号：06-6761-1115 月～金 10:00～17:00)

【受付件数】 オープン後からの累積受付件数は、6,598件
 本年度の相談件数は、以下のとおり。

相談内容	件数	相談内容	件数
妊娠にまつわるもの	12	性病	0
人間関係の悩み	0	近親姦	0
自分の身体の悩み	8	How to Sex	1
マスターベーション	3	養子縁組	0
避妊法について	2	その他	5
同性愛	0	合計	31

VII. 「ふれあいの家」活動

「社会福祉法人そうそうの杜」と賃貸契約を結び、知的障害者の生活支援のためのグループホームとして貸与していたが、平成27年6月末で契約解除となった。

VIII. 大阪市週末里親開拓事業

平成6年7月から、大阪市より委託された事業であり、制度がスタートして21年が過ぎた。今年度は21名の児童の新規登録があり、うち6名が活動を開始した。そのうち1名は年度内に、また1名は平成28年度がはじまるにあたり、関係悪化のため残念ながら終結となった。未委託の15名のうち、2名は平成28年4月から活動がはじまっており、2名は方針変更検討のため中止。11名を引き続き探す。昨年と同様に、里親登録者の受入希望児童の年齢が小学校低学年以下や女兒に偏りがちであるため、

小学生以上の男児は決まりにくく、また、発達遅れや多動傾向や発達障害がみられる子どもは受け入れ希望者があまりなく、なかなか決まりにくい。昨年度未委託であった21名のうち、4名が活動を開始した。残りの17名のうち、方針変更のため9名が中止、3名が保留、引き続き週末里親を探す児童は5名である。

未委託の登録里親については、里親が希望する年齢や性別、距離等があわず、適当な候補児がなく、待たせてしまっている場合もある。今年度は来所して申込書を提出した22家庭のうち18家庭が登録し、6家庭が年度内に活動を開始した。より広く里親家庭を募ったり、様々な課題のある子どもへの理解を深める等の試みをしたりして、マッチングまでつなげていく必要がある。協会外の里親(制度開始以前から活動中の里親、施設職員、施設が独自に開拓した里親)は委託里親数69名、委託児童数72名となっている。

〈週末里親開拓〉

	27年度	累計
電話等問い合わせ件数	52	1530
申込書提出件数	22	504
登録件数	18	400
調査件数	11	188

〈平成27年度活動状況〉

里親数	委託数	解除数	28年度へ継続
27年度中に新規委託	9	1	8
26年度以前からの委託継続	46	4	42
合計	55	5	50

児童数	登録	中止	委託数	解除数	28年度へ継続	未委託
27年度中に新規登録	21	0	6	1	5	15
26年度以前に未委託	21	9	4	0	4	8
26年度以前からの委託継続			48	4	44	
合計			58*	5	53*	23

*里親数と一致しないのは1名の里親に2名の児童がマッチングがされている里親が3組いるため

〈委託解除された子どもの理由内訳〉

委託解除理由	27年度	累計	委託解除理由	27年度	累計
実親引き取り	0	18	施設措置解除	0	28
養子里親委託	0	16	施設措置変更	0	5
養育里親委託	1	12	府へケース移管	2	4
里親の都合	0	18	その他	0	2
里親子関係悪化	2	33	合計	5	136

【週末里親研修会・懇談会】

- 9月19日(土) 13:30～16:00 (対象：里親、施設職員)
 昨年同様、前期は「研修会」の形で実施。大阪市こども相談センター 相談支援課長代理宮井研治氏に、「子どもの発達」について、これまでの経験を踏まえてお話いただいた。
 参加数 里親19家庭21名、施設職員12カ所13名
- 4月23日(土) 13:30～16:00 (対象：里親、施設職員)
 後期の懇談会は3月末で謝礼金を配付する目的も兼ね、4月に実施している。今回は例年通りの「懇談会」スタイルで、小学5年生以下の子どもの里親2グループ、小学6年生以上の子どもの里親1グループの、3グループに分かれ、話し合いをおこなった。
 今回は、今年度から活動をはじめた里親も複数おり、ベテランの里親がアドバイスする場面があったり、それぞれの経験を共有したりするなど、活発な意見交換がなされた。懇談会終了後、部屋を開

放していたため、週末里親同士、また週末里親と施設職員等、個別に話す様子も見られ、貴重な時間を作ることができた。

参加数 里親21家庭25名、施設職員15カ所19名、大阪市こども相談センター1名

【週末里親制度説明会】

『週末里親ってなあに？』と題して説明会を開催した。今回は、週末里親制度の説明の後、大阪市港区にある児童養護施設入舟寮の松木里親支援専門相談員より児童養護施設について、また児童養護施設で暮らす子どもにとっての週末里親の意義について話をいただいた。その後、現在週末里親として活動している、協会の山上より里子との関わりの体験談を話した。参加者から週末里親制度に関する質問も受け、それに対して協会職員、施設職員が答える時間を作った。松木相談員も山上もスライドを用いての話だったので、イメージも持ちやすく、参加者から有意義だったという感想が多く聞かれ、好評であった。参加者の中から登録に結びつく家庭が出てくることを期待している。個別相談ほど敷居を高く感じずに参加できるこのような形式での説明会を定期的におこなうことで、週末里親制度の周知、新規登録者の増加につなげられるのではないかと感じている。

日時 2月20日(土) 10時～11時30分
 場所 大阪市立社会福祉センター
 内容 ①大阪市週末里親制度について
 ②児童養護施設の現状と週末里親の必要性について
 参加者 4組6名 講師(施設職員)1名

Ⅸ. 大阪市よりのその他の委託事業

【大阪市里親制度普及促進事業】

平成24年度より、同事業が公募型となり、毎年の応募、審査を経て、委託事業者として選定されていたが、今年度より、「愛の手運動」にまつわる部分の事業については、公募型ではなく、協会を指定事業者として委託できることとなった。事業には、愛の手運動による里親開拓、養親希望者への研修、委託里親家庭等への訪問指導、全国の児童相談所里親担当者連絡会の企画などが含まれる。

Ⅹ. 大阪府里親支援機関業務

平成20年10月に大阪府より里親支援機関としての業務委託を受けた。

業務内容は、里親制度の普及啓発、里親研修、里親委託推進のための相互交流、施設入所児童を対象とする週末里親事業の実施等である。

【里親制度普及促進事業】

〈里親希望者への研修〉

◆基礎研修(講義・演習, 施設見学)

日時	①H27.4.25 ②H27.7.28 ③H27.10.24 ④H27.10.27 ⑤H28.1.20 10:00～17:00
場所	①⑤高鷲学園 ②大阪水上隣保館乳児院 ③遥学園・大阪水上隣保館乳児院 ④和泉乳児院
内容	・講義「子どもの発達」 ころみカウンセリングセンター 西部美志氏 ・講義「子どもの医療と保健」 高鷲学園 : 前迫奈津子氏 大阪水上隣保館乳児院 : 畑美江氏 和泉乳児院 : 森朋子氏 ・講義と施設説明 高鷲学園 : 施設長 瀬川佳成氏 里親支援専門相談員 若林康一氏 大阪水上隣保館乳児院 : 施設長 高山嘉史氏 里親支援専門相談員 木内さくら氏 和泉乳児院 : 施設長 栗延雅彦氏

	・施設見学	・グループ討議
参加者	①はぐくみ3組6名 養子7組14名 ②はぐくみ7組10名 養子8組16名 ③はぐくみ9組15名 養子4組8名 ④はぐくみ5組8名 養子1組2名 ⑤はぐくみ5組8名 養子5組10名	ファミリーホーム1名 親族2組3名 親族1名 親族1名 ファミリーホーム7名

◆認定前研修Ⅰ・Ⅱ

日時	①H27.5.15/5.30 ②H27.8.29/9.12 ③H27.11.14/11.27 ④H28.2.21/2.27 13:00～17:00			
場所	大阪市立社会福祉センター、たかつガーデン(H28.2.21)			
内容	Ⅰ・講義「里親養育の様々な課題」 家庭養護促進協会 岩崎 美枝子 ・演習「子どもを引き受けたら何が起こるか」 同上 Ⅱ・講義「里親養育、最低基準」 家庭養護促進協会 ①③井手貴夜子 ②④藤目みのり ・講義「子どもの権利擁護」 ②③④弁護士 西村英一郎氏 ① 弁護士 浜田真樹氏 ・先輩里親体験談①大阪里親連合会 東大阪支部 辻晃氏 ② " 吹田支部 石木京子氏 中央支部 牧野博子氏 ③ " 池田支部 宇野田陽子氏 青木裕美氏 ④ " 中央支部 牧野博子氏 岸和田支部 田中富美氏			
参加者	①	②	③	④
I	はぐくみ1名 養子6組12名 ファミリーホーム1名	はぐくみ8組13名 養子8組12名 親族1組2名	はぐくみ11組18名 養子12組16名	はぐくみ8組12名 養子6組12名 ファミリーホーム6名
II	養子6組14名 ファミリーホーム1名	はぐくみ8組14名 養子7組14名 親族1組2名	はぐくみ12組16名 養子5組10名	はぐくみ11組16名 養子6組11名 ファミリーホーム6名

◆認定前研修(実習)

日時	H27.4～H28.3.31
場所	乳児院4カ所 児童養護施設14カ所
内容	施設実習
参加者	はぐくみ22組39名 養子23組46名

◆里親更新研修

日時	①H27.6.27 ②H27.12.12
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	・講義「社会的養護の現状と里親委託推進のための取り組み」 大阪府中央子ども家庭センター 地域相談課長 太田真実氏 ・講義「ほめることで変わる子育て方法」 情緒障害児短期治療施設「あゆみの丘」 児童指導員 松川和人氏 ・講義「親子関係の落とし穴」 元 関西福祉科学大学社会福祉学部 教授 松宮満氏 ・グループ討議
参加者	①11名6組 ②5名3組

◆専門里親認定研修

日時	H27. 7. 1～12. 31
場所	愛育研究所、生駒学園
内容	・通信教育 ・スクーリング（H27. 8. 28～30の3日間） 会場：愛育研究所 ・施設実習（H27. 12. 1～8の間の7日間） 実習先：生駒学園
参加者	1名

【里親委託推進・支援等事業】

(1) 会議への参加

◆里親委託等推進委員会調整委員会

日時 H28. 2. 17 内容 平成27年度活動状況報告

◆里親委託等推進合同連絡会

日時 ①H27. 5. 22 ②H26. 10. 23

内容 ①〇大阪府からの報告

- ・里親委託等推進委員会について
- ・里親支援専門相談員の業務について
- ・平成26年新規里親登録・取り消し及びファミリーホーム開設状況について

〇はぐくみホームによる地域子育て支援システム構築事業について

〇週末里親事業について

〇第1回里親支援専門相談員ワーキングについて

②〇大阪府、各機関からの事務連絡

〇本会議前のディスカッション概要報告

〇はぐくみホームによる地域子育て支援システム構築事業の実践報告

〇ブロックからの活動報告

◆里親連合会支部長会議

日時 ①8/7 ②11/16 ③10/6 ④11/28 ⑤1/19

内容 ①②夏季宿泊研修について・普及啓発活動について

①表彰関係・読売育英奨学金について

②③春季里親研修会について・認定前研修の講師について

③全国里親会からの説明とお詫びについて

(2) 相互交流事業

◆新規委託里親研修

日時	H27. 9. 26 13:30～16:00
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	・先輩里親の体験談 大阪里親連合会 富田林支部 佐々木省三氏 岸和田支部 水島貴子氏 ・グループ討議
参加者	6組11名（はぐくみ6名／養子5名） 専門相談員2名

◆課題別研修

① 講義とワーク

日時	H27. 10. 7 13:00～16:00
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	「里親委託解除」～気持ちを整理する～ ・体験発表 大阪里親連合会 中央支部 山本綾子氏 富田林支部 佐々木圭子氏 ・講義とワーク 講師：こころみカウンセリングセンター所長 西部美志氏
参加者	10名9組 専門相談員2名

② 講義とワーク（大阪市と合同）

日時	H27. 11. 25 10:00～12:30
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	・講義 「思春期の性について」 講師：大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 野坂祐子氏
参加者	大阪府19名（里親9名 週末里親7名 専門相談員3名） 大阪市34名（里親25名 FH2名 専門相談員7名）

③ 講義（大阪市と合同）

日時	①H28. 3. 5
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	講義 「中途養育の支援の基本と子どもの理解」 講師：NPO法人 児童虐待防止協会理事長 津崎哲郎氏
参加者	大阪府29名（里親22名 専門相談員7名） 大阪市20名（里親17名 専門相談員3名）

※H28. 1. 23に大阪府親族里親懇談会を予定していたが、参加者が2組3名、そのうち1組が途中参加だったため中止した。

(3) 里親会主催：親と子の夏季宿泊研修

日時 H27. 8. 22～23 場所 石川県 片山津温泉方面

内容 1日目 体験発表とグループ討議

2日目 小松航空プラザ見学、日本海さかな街

参加者 44名（子ども13名）

(4) 地域シンポジウム（相談会）

センター名	日時	場所および内容	参加者数
池田	H27. 6. 21(日) 10:00～12:00	箕面文化・交流センター 里親の体験発表、施設職員の講演、個別相談会	27名 相談1組
東大阪	H27. 7. 4(土) 13:30～16:00	八尾市文化会館 里親の体験談、里子からのメッセージ、個別相談会	61名 相談3組
中央	H27. 7. 22(水) 12:00～15:00	門真市役所 里親相談会	相談3組
岸和田	H27. 10. 18(日) 13:30～16:00	岸和田市立波切ホール 里親相談会	相談8組
中央	H27. 11. 1(土) 8:00～	淀川市民マラソン 里親普及啓発	39名 ランナー22名 応援17名
池田	H28. 1. 31(日) 10:00～12:00	池田駅前南会館 里親の体験発表、個別相談会	34名 相談3組
吹田	H28. 2. 14(日) 13:30～16:00	千里ニュータウンプラザ 制度説明、週末里親体験談、はぐくみホーム体験談、養子里親座談会、個別相談会	39名 相談3組
岸和田	H28. 2. 15～19 10:00～16:00	泉大津市役所 相談会	相談5組
岸和田	H28. 3. 13(日) 10:30～16:00	ららぽーと和泉 相談会、パネル展示	子ども 202名

(5) 大阪府里親シンポジウム

日時 H27. 10. 3(土) 14:00～17:00 場所 豊中男女協働参画推進センター

内容 元里子体験談、里親体験談、個別相談会

参加者 120名

【週末里親事業】

毎年10組程度の週末里親子が成立しており、養育への移行も年1～2組ある。施設で生活する子どもにとって、貴重な家庭生活体験の場になっている。

①実質活動実績

29施設 児童97名 里親77組(うち登録里親9組)
活動回数 延べ764回 活動日数 延べ1,720日(※2泊3日事業の活動含む)

②2泊3日里親事業

長期休暇中家庭に帰れない子どもを対象に、待機となっている週末里親希望者の中から協力者を募り、2泊3日の家庭生活を体験することを目的として実施。

	協力家庭	候補児童	マッチング数	うち週末へ移行
夏季	25	36名(25組)	週末10組/はぐくみ2組	7組
冬季	—	12名(9組)	週末2組/はぐくみ2組	2組

③平成27年度新規週末里親子 14組19名 大阪市からのケース移管 2組2名

④大阪府週末里親懇談会

週末里親に集まってもらい、活動の様子や日頃感じている悩みについて、情報や意見を交換した。開催日 H27. 7. 18 参加者 週末里親 10組12名 施設職員 14名

⑤週末里親研修

週末里親活動希望者に対し、社会的養護を必要とする子どもを理解してもらう、子どもが生活している施設の実情を知ってもらうことが目的。

開催日	H27. 6. 13
場所	子供の家
内容	・講義「社会的養護が必要な子どもの理解」「週末里親と関わりのある子どもについて」 ・施設見学と子どもたちとのふれあい ・週末里親体験談
参加者	14組22名

施設で子どもたちがどのように生活しているのかがよくわかり、週末里親活動をする意義の深さを理解できたという声が多かった。

ⅩⅠ. 生活資金・奨学資金貸付制度

平成25年度に21歳男性(養子)が自立支援フリースクールへ通う学費1年分を、教育支援資金として316,800円貸し付けた。男性は派遣社員として就労し、27年度は63,360円の返済がなされ、返済残高は190,080円である。新たな貸し付けはなかった。

ⅩⅡ. その他の活動

◆新聞社等マスコミからの取材に対応した。

- H27. 4. 8 中京テレビ 安川氏
- 4. 10 映像制作所タイムアップ 藤葉氏
- 4. 14 朝日新聞東京本社テレビ編集部太田記者、いとうカメラマン
- 7. 6 読売新聞社喜多記者
- 8. 31 ライターの坂上琴氏
- 12. 24 天王寺区役所の高戸氏、ライターの朝日氏他2名(天王寺区広報紙取材)
- H28. 2. 17 共同通信社 宮城記者
- 3. 1 TV朝日山田プロデューサー、製作会社5年D組太田プロデューサー(TVドラマ制作の取材のため)
- 3. 14 中京テレビ 安川氏

◆協会活動や里親制度等について知るために以下の人々の訪問があった。

- 4. 7 こども情報研究会 奥村氏と藤井氏(里親研修について)
- 4. 21 円ブリオ大阪生見氏

- 5. 7 社会福祉士菅氏(協会の活動について)
- 5. 9 NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会石橋氏、長尾氏、(里親制度について)
- 5. 12 奈良市役所子ども未来部子育て相談課米田氏、中南氏
- 5. 22 同志社大学院生近藤さん
- 6. 10 元愛の手記者、現龍谷大学社会学部准教授畑仲氏
- 6. 15 第一工芸代表取締役綿谷氏、営業部次長大越氏(協会への支援活動についての相談)
- 6. 22 大阪市里親会橋本副会長(週末里親制度についての相談)
- 7. 15 京都文教大学3回生倉崎さん
- 10. 2 京都府立大学4回生小島さん(卒論の情報収集)
- 10. 27 日本女子大学林先生(養子縁組斡旋にかかわる意見交換)
- 11. 6 NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会長尾氏、藤井氏(協会の広報活動について)
- 11. 12 大阪社会福祉交流プログラム フラン・ネーションリーダー他5名
- 12. 15 映画監督豪田トモ氏(新作制作にあたって)
- 12. 18 愛知東邦大学伊藤先生(「家庭養護寮」について情報収集)
- 1. 21 映画監督豪田トモ氏(新作制作にあたって)
- 1. 28 大阪市天王寺区水谷区長
- 2. 5 日本財団高橋氏、三菱UFJリサーチ&コンサルティング 家子氏(養親子に関する調査についての依頼、および協会の活動を知るため)

◆大阪市こども相談センター主催の出前相談会に相談員として協力した。

- H27. 8. 7 あべのハルカス7階街ステーション(山上・中島)
- 9. 7 大念仏乳児院(田邊・和田)
- 10. 24 イオン大阪ドームシティ(山上)
- 11. 1 ATCホールオズ南館(和田)
- 12. 13 あべのハルカス8階街ステーション(山上・和田)
- H. 28. 1. 23 あさひあったかきち(中島)

◆以下の企業や団体が愛の手運動のためにという趣旨でイベント等を企画し、その収益を活動資金等として寄贈いただいた。いずれの場合も、単にご寄付を受けたということだけではなく、愛の手運動のPR活動としての効果もあり、感謝している。

- *日本こども支援協会より子ども衣類、玩具多数
- *グローバルアシスト神谷理事より玩具多数
- *一般社団法人 大阪府宅地建物取引業協会(100,300円)
- *もとたまりコーダー教室クリスマスチャリティーコンサート(16,600円)
- *毎日新聞大阪本社社会部第47回愛の手チャリティーオークション(1,566,916円)
- *大阪曾根崎ライオンズクラブ新年定例会に出席(100,000円)
- *一般社団法人 大阪府宅地建物取引業協会泉州支部(148,904円)
- *一般社団法人 大阪府宅地建物取引業協会チャリティーボウリング大会3月に開催(受贈は4月28年度として257,480円)
- *一般社団法人 大阪府宅地建物取引業協会北摂支部(受贈は4月28年度として36,881円)

- ◆府子ども家庭センター里親担当者会議に出席し、大阪府子ども家庭センター、大阪市こども相談センター、堺市子ども相談所との連絡調整に努めた。
- ◆今年度より大阪市里親認定前研修事業は他機関が受託したが、引き続き、「認定前研修Ⅰ」の講師は岩崎が引き受けている(年4回)。
- ◆日本財団主催養子縁組法に係る意見交換会で意見を述べた(岩崎)。
- ◆厚生労働科学研究「国内外における養子縁組の現状と子どものウェルビーイングを考慮したその実践手続きのあり方に関する研究会」に実践研究アドバイザーとして前年度より参加継続(岩崎)。
- ◆厚生労働科学研究「里親認定に係る研修に関する研究」に委員として参加(岩崎)。